

JAだより

いわい



岩井農業協同組合・〒306-0631 茨城県坂東市岩井2229番地 TEL 0297-35-8331(代)



国に水田農業の経営安定を要望……………P6



JA岩井ホームページでJAだよりがご覧になれます



外国人農業技能実習生 受入農家募集のご案内

この事業は、当管内の農業技能・技術又は知識を開発途上国等へ移転し、経済発展を担う「人づくり」に協力することを目的とする事業です。また、両国間の相互理解と友好親善を図ることにより、国際協力・国際貢献を目指すものです。

当JAでは、2007年12月から外国人農業技能実習生の受入事業を開始し、現在までに約630人の技能実習生を受入れ、農業技術や知識の習得に向けて実習を行ってまいりました。現在、インドネシアから年2回（6月・12月）の受入れをしています。

予定受入時期

2027年6月入国予定（入国後、約1ヶ月間の講習があります）

※国際情勢により予定受入期間（入国時期）が遅延となる場合がございますので、予めご了承ください。

申込み・問い合わせ先

受入を希望される方には、実習事業の内容等について個別に説明致しますので、お早めにお問い合わせください。

（募集締切日）

2026年9月15日

JA岩井 営農支援課（経済センター2階）

TEL 38-8618

FAX 38-8611



【受入農家宅の訪問指導・巡回】

毎月、訪問指導・巡回を実施しています。受入農家・実習生双方からの相談、伝達など、通訳を通じて意思疎通を図り、円滑な実習事業の運営に努めています。

外国人実習生・受入農家が笑顔で対面

JAは7月15日、経済センターで外国人農業技能実習生12人・受入農家11戸との対面式を開き、JA役職員や実習生送り出し機関など合わせて34人が出席しました。

冒頭、受入農家連絡会の荒井信雄会長は「日本に来てくれてありがとう。技能習得を終える頃には今よりも日本を好きになって欲しい。暑い日が続いているので、体調管理とケガに注意しながら農業実習に取り組んで欲しい。受入農家には、実習生への熱中症対策を講じてもらいたい」と通訳を通してあいさつすると、実習生たちは声を揃えて「はい、がんばります」と日本語で返事しました。

また、当JAの飯塚利幸代表理事組合長は「実習は安全第一、生活は健康第一」で、これからの始まる農業実習に向けて「*Sumaganya* (頑張って)」とインドネシア語でメッセージを送りました。

これまでに約630人の実習生を受入れ、今回の第34期生12人もそれぞれの受入農家で農業の技能習得が始まりました。



あいさつする荒井会長



初対面で握手する受入農家と実習生

外国人実習生が県外研修

JAと受入農家連絡会は7月21日、農業技能実習3年目となるインドネシアの実習生33人を対象に、県外研修を行いました。日本文化や風土に触れる機会を設けるとともに、日頃の農業技能実習の慰労も兼ねて世界文化遺産である富士山を訪れました。

坂東市からも富士山が見える場所がありますが、貸切バスが富士山5合目に到着すると、「日本で行って見たかった場所の一つ、実習しながら見ていた富士山まで来られてうれしい」と、通訳を通じて喜びの声が聞けました。



特産野菜を全国に発信

JAと園芸部は、全国各地の量販店やスーパーの店頭に立ち、国内の「食」を支える産地の1つであることやそこで作られる野菜へのこだわり等、情報発信に力を入れています。消費者との積極的な対話を通じてPRする品目は、周年出荷されるねぎ、春と秋に旬を迎えるレタスを中心に、キュウリやトマト、セルリーなど様々です。

今年は東京都世田谷区の「三軒茶屋とうきゅう」での新春野菜フェアを皮切りに、首都圏だけでなく宮城県や愛知県、新潟県などの各店舗で販促活動を実施した他、地元イベントにも参加し、これまでに30カ所で特産野菜をPRしました。

7月11日には、園芸部の倉持次男本部長が大阪府吹田市「スーパーイズミヤ千里丘店」で、出荷最盛期を迎えた露地作夏ねぎの特長、みずみずしさとシャキシャキ食感を来店客に説明しながら、試食を勧めました。ねぎを斜め切りして、味付けメンマ・ごま油・醤油を和えたねぎメンマは、すごく美味しいと好評で、茨城県からPRしに来ていることに驚かれました。

7月25日には、当JAの真中久代表理事専務と園芸部の木村定男副部長が新潟県で産地PRを行い、こちらの店舗も大盛況でした。



7/11 大阪府 イズミヤ



7/25 ロピア ムサシ新潟店

ねぎ品質強化の栽培講習会開催

JAと園芸部は7月28日、経済センターで初夏・夏ねぎ栽培講習会を開き、ねぎ生産者約80人が参加しました。講習会では坂東地域農業改良普及センター、肥料・農薬メーカー、JA営農部職員が講師を務め、当JA管内で実施した品種比較試験や出荷されるねぎの日別等級比率などのデータをもとに、品種選定のポイント、トンネル被覆から露地作型への切り替え時期、新資材などを提案しました。

生産者から既存品と新資材との使い分けについての質問が挙がると、講師はその効果、コストなどの観点から丁寧に回答しました。

初夏・夏ねぎの出荷時期は梅雨や猛暑・酷暑の時期にあたり、年々厳しくなる気象条件に対応できる作型を明確に示すことで、産地全体として出荷量の安定・品質強化につながることから、生産者は真剣に耳を傾けていました。



品質強化のための対策を提案する後藤憲司営農課長
(経済センター会議室)

年金友の会ボウリング大会

JA年金友の会は7月23日、ヨークタウン内のジョイナスボウル坂東で「第11回ボウリング大会」を開き、94人が参加しました。競技開始にあたり、年金友の会の谷上富次会長が、「本日もケガ無く楽しんでください。昨年より参加者が増えているので、秋の親睦旅行も是非参加して欲しい」とあいさつしました。

参加者らは1時間30分ほどのプレーと会話を楽しみつつ、一投一投集中して行われました。3ゲームの合計スコアで順位を競った結果、優勝は男性の部 染谷利和さん(七郷)スコア559、女性の部 荒井一代さん(中川)スコア496となりました。優勝おめでとうございます。



プレーを楽しむ会員



優勝した染谷さん・荒井さん

モルック大会を初開催 ～女性部岩井支部～

JA女性部岩井支部は7月17日、モルック大会を開催しました。これまでは寄せ植え体験活動などに合わせてモルック体験を行い、部員への周知と練習を重ねてきましたが、モルックをメインとした活動は岩井支部では初、七郷支部に続く取組みとなりました。

参加した12人が3人1チームに分かれ、1投ずつ入れ替わりながらモルック(木製の棒)を投げてスキttl(木製のピン)を倒しました。倒した本数や表記してある数字がチームの得点となること

ことから、メンバー同士でどのスキttlを狙うか相談しながら点数を積み上げました。

今後、女性部本部主催の第2回モルック大会(9月26日開催・岩井公民館 会場)に向けて、各支部での大会や練習・体験など、徐々に盛り上がりを見せています。



涼しい室内で楽しめるモルック(岩井東支店2階)

国会議員に要望書を提出

茨城県農業協同組合中央会は7月7日、東京都千代田区の衆議院・参議院会館を訪問し、本県選出の与党国会議員13人それぞれに水田農業政策に関する「緊急要望書」を手渡しました。当ＪＡからは倉持克己常務理事が参加し、共に米の需給安定と生産者の経営安定を訴えました。

日本国民の食生活を支える基幹作物である米の安定供給と水田農業の持続的な発展を図るため、生産者が将来にわたり安心して営農を継続できる環境を整え、受給と価格安定を確保することが極めて重要であることから、令和7年に実施した政府備蓄米の買戻し条件付き売渡しに係る買戻しについて、速やかに実施し、当面のコメの需給安定が図られるよう要望しました。



要望書を届けた県内ＪＡ・中央会役員と受け取った永岡桂子議員秘書(右から4人目)

ＪＡ間交流で親睦深める

当ＪＡと鉾田市を管内に持つＪＡ茨城旭村は7月19日、鉾田市柏熊新田の海岸で地引網体験交流会を開きました。両ＪＡでは、青果物の生産・販売体制に対して切磋琢磨し合い、産地間の情報交換や交流を長年続けていますが、地引網体験は初の試み。交流会には両ＪＡ役職員とその家族ら100人以上が参加し、前日から海に仕掛けられた網を二手に分かれて砂浜まで一気に引き上げました。足元まで海に入りながら網を引き続けると、イワシやカニ、小さいサメなど約200匹が網にかかり、あちこちから驚きと歓喜の声が上がりました。

その後、砂浜に隣接した海の家「石崎丸」を会場に、採りたての魚介類を焼魚やカニ汁に調理し、食事をしながら親睦を図った他、ＪＡ茨城旭村特産のメロンが当たる抽選会も行われ、終始盛り上がりを見せ、よりいっそう交流が深まる1日となりました。



地引網の引き上げ



役職員・家族間の交流

理事会だより

令和8年7月27日

主な報告事項

- ①6月末実績について
- ②令和8年度上期監事監査について
- その他

主な協議事項

- ①常勤理事の他団体理事等就任の承諾について
- ②坂東市消防団第7分団詰所敷地借用の協力依頼について
- ③経理規程附属規程「決算実施要領」の一部変更について
- ④「経理規程」の一部変更について
- その他

今月の表紙



鈴木裕さん(長須)のお孫さん
大翔くん(6) 実莉ちゃん(4)

食・農守る意識低い日本人 違いは「教育」

ファクトで読み解く農業

東京大学大学院 特任教授・名誉教授 ● 鈴木宣弘

日本の食料自給率が先進国最低水準になっている背景の一つとして、日本人の自国の食料・農業を大切にする意識の低さが指摘される。特に、欧州の方が幾度もの戦争と食料難を経験したから日本よりも食料・農業・農村への共感が深いとの指摘があるが、それは違う。

日本も戦争などによる厳しい食料難を経験しているのに日本人はそれを忘れ、欧州はなぜ忘れないか。それは教育の差ではないか。

それを検証したのが薄井寛「歴史教科書の日米欧比較」(筑波書房、2017年)である。例えば、ドイツの歴史教科書「発見と理解」では、「イギリスの海上封鎖によって、(中略)1914〜18年、栄養失調による死亡者は70万人を超えた」といった記述がある。戦時中の食料難を、生徒たちの討論や研究課題に取り上げる教科書も少なくない。

一方、日本の戦中・戦後の食料難の高校歴史教科書における記述は90年代半ばまでは増えていたが、2014年度使用の「日本史B」19点を見ると、戦後の食料難を4、5行の文章に記述する教科書は7点あるが、他の12点は1〜3行、あるいは

は脚注で触れているのみで、人々の窮乏を思い起こさせる写真も減少していると薄井氏が指摘する。

戦後の日本はある時点から「不都合な」過去を消し始めた。筆者の指摘にフェイスブックにこんな体験談が寄せられた。

「農村では権力的に米が収奪され、農家であるわが家でも一番上の姉は5歳で栄養失調で亡くなりました。(中略)私も弟も栄養失調でした。母が『カタツムリを採っておいで』とザルを渡してくれました。カタツムリを食べる習慣のない当時、グルメやゲテモノ食いとしてではなく、生き残るためとして母はそう言ったのです。(中略)弟と河原で数十個採ってきました。母はそれを煮つけてくれました。全身に染み渡ってくれたあの味は今でも忘れません。1950年ごろのことです」

私たちはこうした重い過去を次世代に引き継ぐための情報収集と普及活動を国民的に展開すべきであろう。これこそが命を守る「食育」ではないか。子どもたちが変われば、日本の食と農の未来が変わる。

※日本農業新聞 2026年1月6日付「今よみ」を一部改編

アグリファイター資金



農業融資のこと、農業経営のことは、JAにご相談ください!!

金利

農業生産に直結する設備資金・運転資金の場合、JAバンク利子補給（最大1.0%）の適用により、最長3年間、引き下げ後の金利でご利用いただけます。

※ JAバンク利子補給は、当初借入金額が1百万円以上の場合に限ります。利子補給後の金利はJAにご確認ください。

幅広い 資金使途

農業生産や加工・流通・販売に関わる様々な資金、再生可能エネルギー利用に関わる資金など、ご要望に合わせて幅広くご利用いただけます。

※ 農機具（中古）、ハウスのビニール張替え費用にもご利用可能です。

スピーディー な実行

JAバンク茨城がご融資させていただく資金のため、スピーディーな対応が可能です。

詳細は、右記QRコードでご確認できます。

ご相談は、JA金融店舗までお問い合わせください。



JAバンク茨城
<https://www.jabank-ibarakai.or.jp>

休日ローン相談会

～ お客様のニーズに合わせたプランを提案いたします ～

日時：令和8年 **10月3日(土)** 午前9時～正午
会場：岩井東支店・岩井南支店・岩井西支店・岩井北支店

あなたの想い、映かせよう。



◆住宅ローン

(金利プラン)

- ①金利選択型 (3年・5年・10年・15年固定)
 - ②変動金利型
 - ③固定金利型 など選択肢が充実!
 - ④3大疾病保障付住宅ローン「サポート3」も取扱中
- ※月々の返済見込み額を試算いたします。(無料)

(資金使途) 住宅新築、増改築、リフォーム、住宅用土地購入、借り換え資金 など



◆マイカーローン

(資金使途) マイカー・バイク購入、車庫設置、修理費など



◆教育ローン

(資金使途) 入学金、授業料、学費、就学のための家賃など



◆農業資金

(資金使途) 農機具、農業用倉庫、農地の改良・造成など

JA金融店舗まで、お気軽にお問い合わせください。

- | | | | |
|----------|--------------|--------|--------------|
| ・岩井東支店 | 0297-35-0043 | ・岩井南支店 | 0297-38-2706 |
| ・岩井西支店 | 0297-35-0354 | ・岩井北支店 | 0297-34-2321 |
| ・融資課(本店) | 0297-35-8333 | | |

JA岩井で

年金お受け取り

のお客様



提携ATM 入出金手数料が

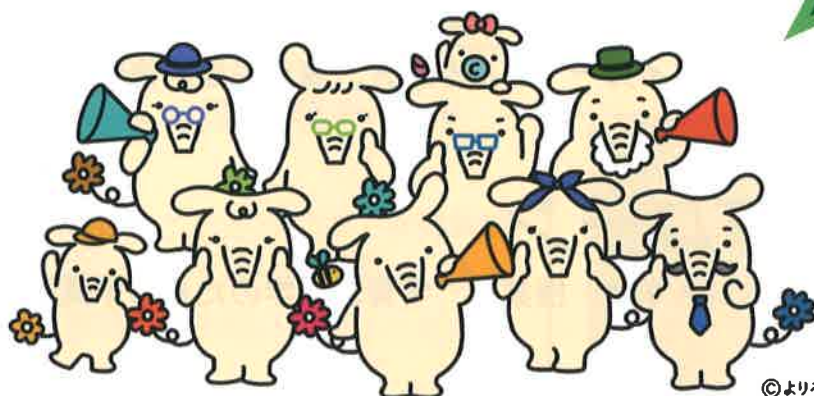
最大3回／月

無料

です!



JAバンク茨城 優遇プログラム



©よりぞう

一定期間内に公的年金(農林年金/農業者年金/新国民年金/国民年金/厚生年金/共済年金/船員年金等)の振込みを1件以上お受け取りいただいていること

※当JAへの年金お受け取り口座変更手続きなど、下記までお問い合わせください。

JA 岩井

<http://www.ja-iwai.jp/>

本店信用課
岩井東支店
岩井南支店
岩井西支店
岩井北支店

☎0297-35-1464
☎0297-35-0043
☎0297-38-2706
☎0297-35-0354
☎0297-34-2321